

# 内田川と岩野川が菊池川につながるまで

～川や石の観察とモデル実験を通して～

山鹿市立鹿本小学校 6年1組 隈部旭陽

## 1. 研究を始めた理由

去年の研究で、菊池川の上流(菊池溪谷)から中流・下流・河口までの川の流れや川原や石の様子について調べてみた。調べてみると、川原の石のつぶの色などに違いがあった。そこで、菊池川につながる他の川の様子を調べてみることにした。

## 2. 研究の目的

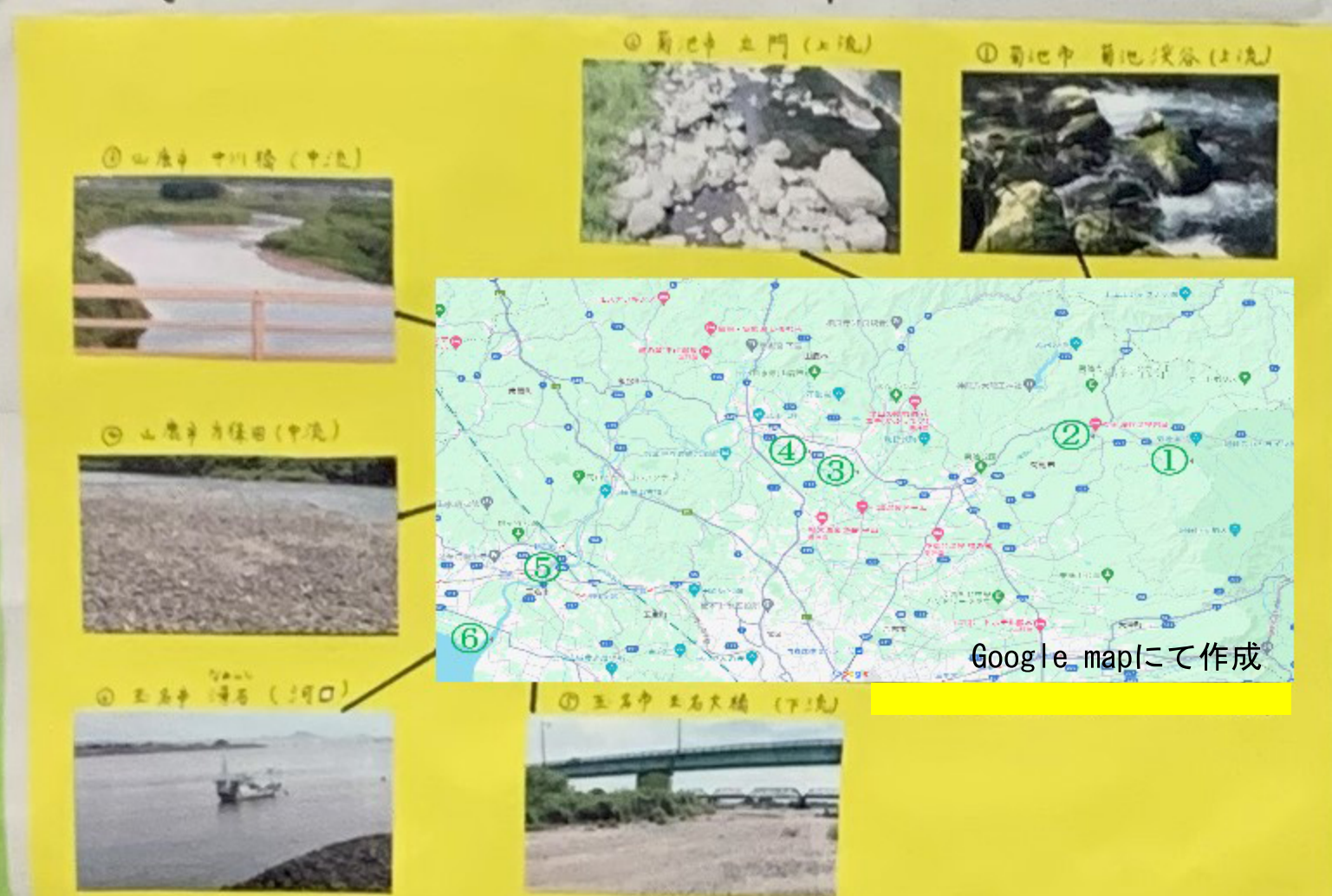
菊池川が、上流・中流・下流を流れて海に流れこむまで、どのように変わっていくのかを調べる。また、菊池川につながる他の川の様子を調べ菊池川の様子と比べる。

## 3. 研究の方法

- (1) 菊池川の上流・中流・下流の様子を調べる。
- (2) 菊池川につながる川の様子を調べて、菊池川と比べる。
- (3) 小さい川を作って、菊池川と他の川がにつながる様子調べる。

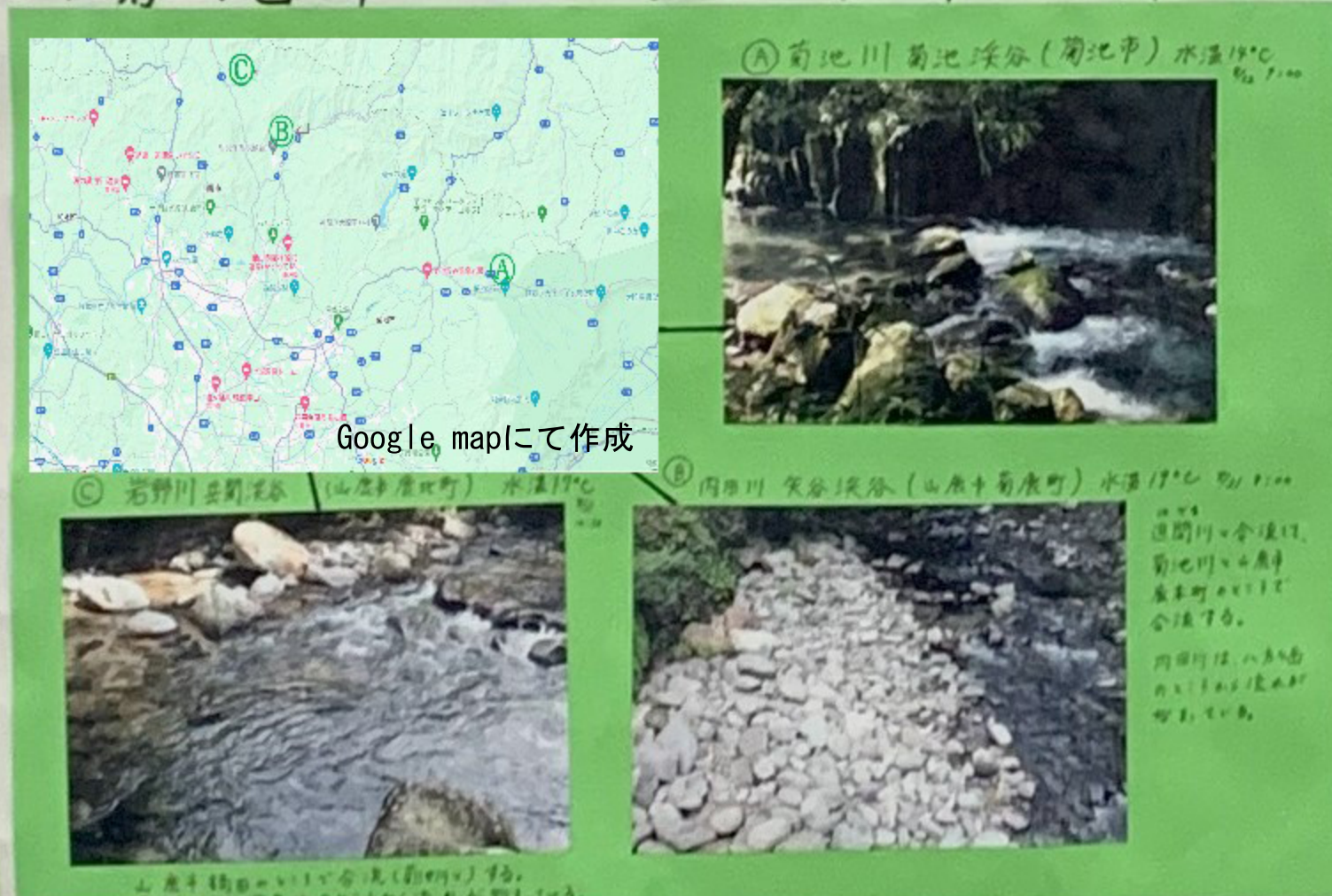
## 4. 研究の結果

(1) 菊池川の上流・中流・下流の様子を調べた。



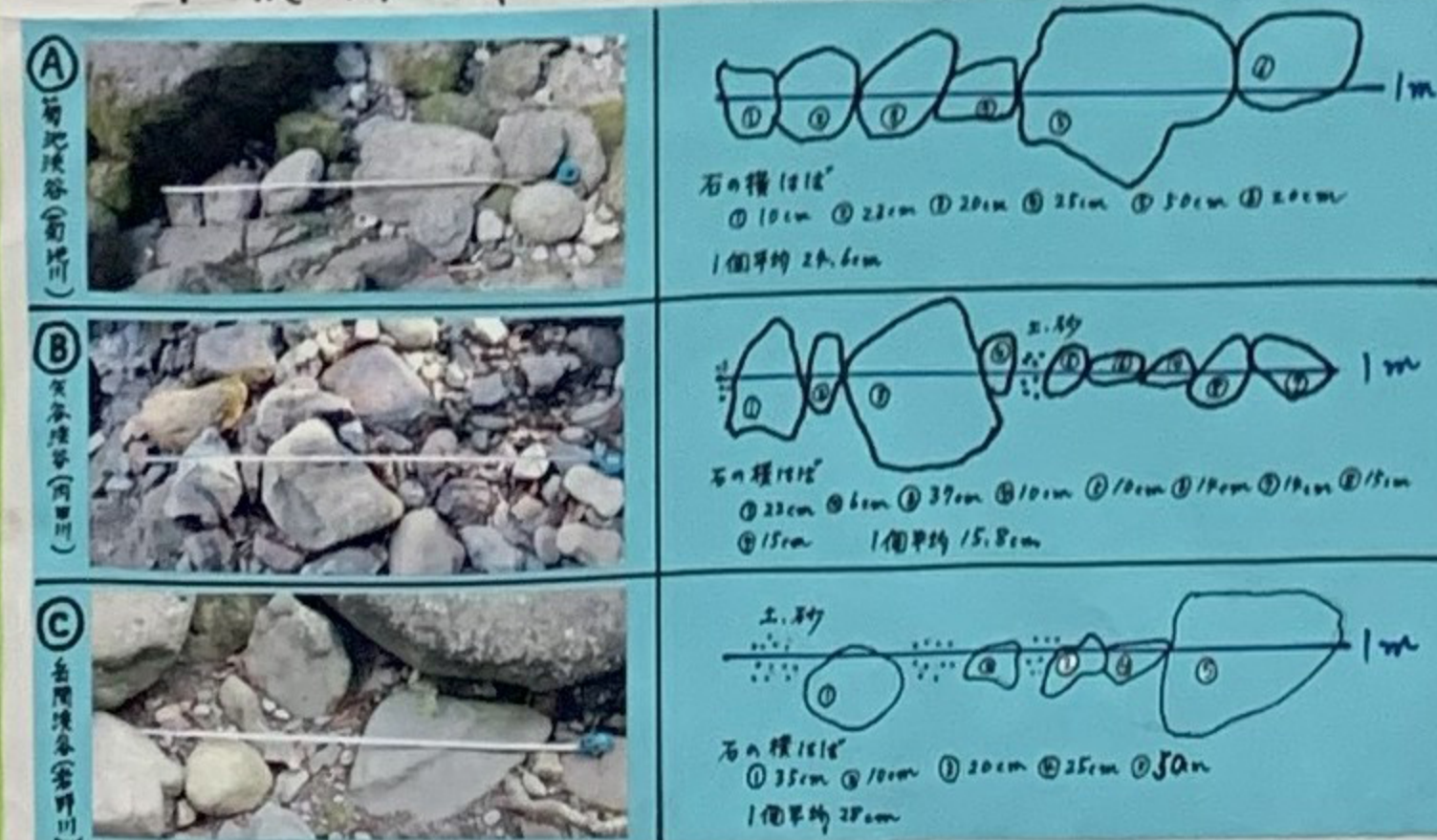
場所 (所在地)	川の様子		
	流れの様子	石の様子	気づいたこと
① 菊池溪谷(菊池市)	水量が多い。 流れがとても速い。	石がとても大きい。岩が多い。 石が崩れてゴツゴツしている。	急流がいくつかある。 岩に水がはねている。
② 立門(菊池市)	川の流路が変化する。 水がすくもっている。	石が大きい。 角は少し丸いが全体は鋭い。	川の曲がりの内側に石や土が溜まり、草が生えている。
③ 中川橋(山鹿市)	川はばが広く、流れがゆるやかになった。	石が小さい。 石が丸くなっている。	川の曲がりの内側に石がたまり川原になっている。
④ 方保田(山鹿市)	中田川が流れこんでいて、流れは速い。水がすくもっている。	石が小さく、丸いものが多い。 砂が多い。	川の曲がりの内側に石や砂がたまり川原になっている。
⑤ 玉名大橋(玉名市)	流れが速く、水がすくもっている。 水量がとても多い。	小石や砂がほとんどない。 石は小さく、角が鋭いものが多い。	川の流路が速く、水がすくもっている。
⑥ 滑石(玉名市)	流れが速く、水がすくもっている。 菊池川が有明海に流れこんでいる。	砂がほとんどない。	海に流れこむところで、水がすくもっている。

(2) 菊池川につながる川の様子を調べて、菊池川と比べてみた。

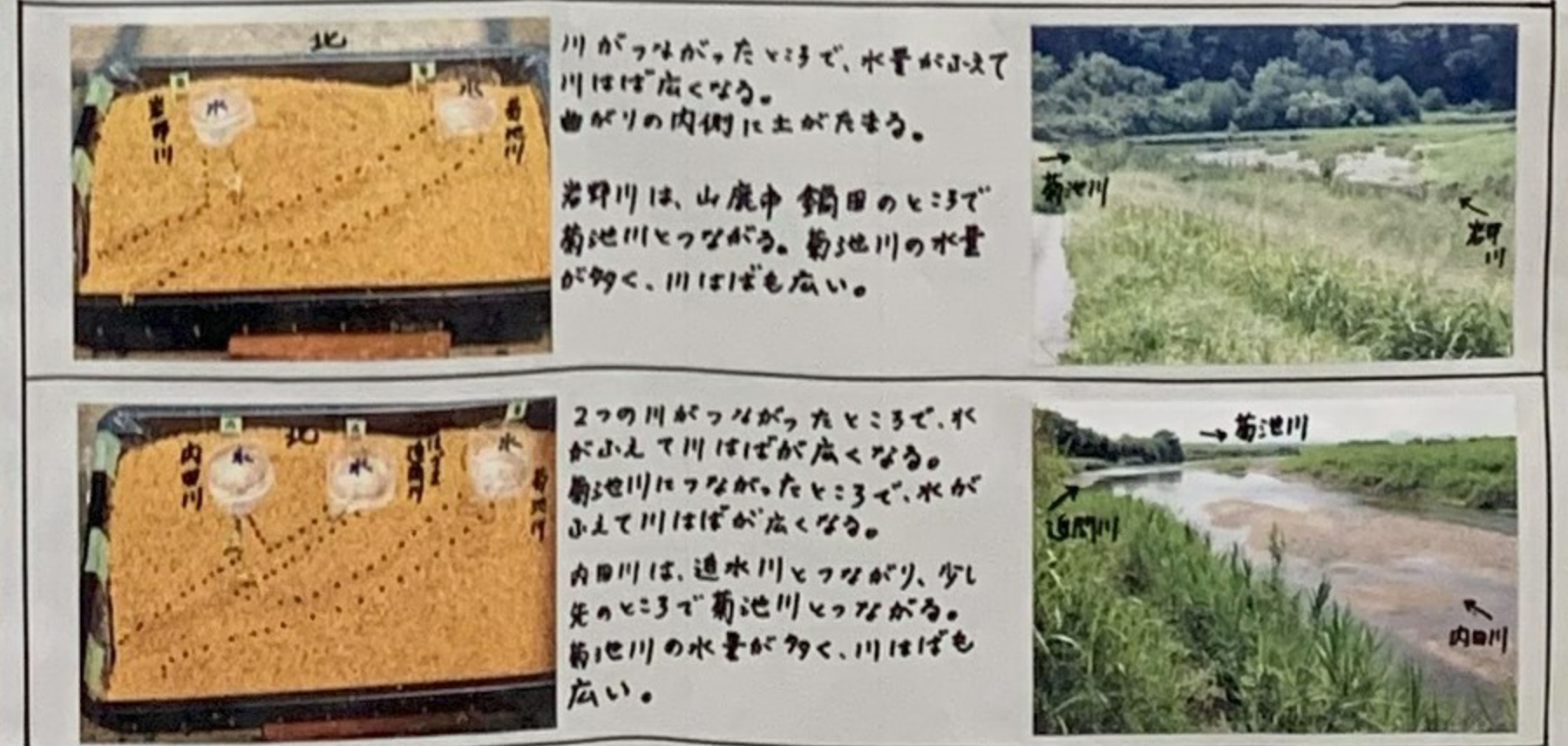


場所 (所在地)	川の様子		
	流れの様子	石の様子	気づいたこと
A 菊池溪谷 菊池川(菊池市)	水量がとても多く、流れが速い。 流れが速い。 水がすくもっている。 冷たい。(19℃)	石が鋭く、角が鋭い。 石が大きい。 石が崩れてゴツゴツしている。	川原は岩がはねている。 急流がいくつかある。 岩に水がはねている。 とても涼しい。
B 矢谷溪谷 内田川(山鹿市鹿本町)	水量は多く、流れが速い。 流れが速い。 水がすくもっている。 冷たい。(19℃)	石が鋭く、角が鋭い。 石が大きい。 石が崩れてゴツゴツしている。	川原は岩がはねている。 急流がいくつかある。 水がすくもっている。 とても涼しい。
C 岳間溪谷 岩野川(山鹿市鹿本町)	水量は多く、流れが速い。 流れが速い。 水がすくもっている。 冷たい。(19℃)	石が鋭く、角が鋭い。 石が大きい。 石が崩れてゴツゴツしている。	川原は岩がはねている。 急流がいくつかある。 水がすくもっている。 とても涼しい。

1mのメジャーの下にあった石を調べた。



(3) 小さい川を作って、流れる様子を調べてみた。



## 5. 研究のまとめ

- 菊池川の上流は、岩や大きい石があり角ばっている。流れは速い。中流・下流になるにつれて石は小さく丸くなり、砂や土がふえる。川はばが広く水量が多くなり、流れもゆるやかになる。最後は、有明海につながる。
- 菊池川につながる内田川と岩野川は、菊池川の上流・中流・下流と同じような流れり方をしながら菊池川につながる。
- 内田川と岩野川は、菊池川につながるまでの川の長さがあまり長くないので、中流でも岩や大きい石が見られると思った。
- 内田川と岩野川は、菊池川につながることで、水や石や砂や土を菊池川に運び込んでいると思った。
- 矢谷溪谷、岳間溪谷、菊池溪谷の岩や石は、つぶの色やもようなどが少し違うものもあると思った。それで、岩や石の名前や違いなどを知りたいと思った。